

- 3月3日(火) 会津若松市立謹教小学校
- 3月4日(水) 郡山市立橋小学校
- 3月5日(木) 白河市中央公民館
- 3月6日(金) 原町市役所

#### 4 昭和45年度使用高等学校用教科書調査研究

##### (1) 目的

昭和45年度使用高等学校用教科書について調査研究を行ない、資料を作成して教科書の採択ならびに使用の適正化を図る。

##### (2) 調査研究の期間

昭和44年6月1日から昭和45年3月31日まで

##### (3) 調査研究の日程

- ① 調査研究協力校代表者会議 6月13日
- ② 調査研究協力校連絡会議 各部会ごと開催  
12月10日～12月15日までの間で各1日間
- ③ 調査研究協力校訪問指導 9月～12月中に1回
- ④ 調査研究資料の作成・配布

##### (4) 調査研究協力校の設置

上記の調査研究を進めるため調査研究協力校を設置する。調査研究協力校の関係教科、科目の担当教諭は、該当の教科書を分担して調査研究を行なう。

○調査研究協力校は、次のとおりである。

##### 教科書種目 協力校

国語	現代国語	南会津高校、白河女子高校
	古典乙I	磐城女子高校、保原高校
社会	倫理・社会	小高工業高校、須賀川高校 安積女子高校
	地理A・B	磐城高校、郡山商業高校 福島高校
数学	数学I	郡山西工業高校、内郷高校 喜多方高校
	生物	安達高校 本宮高校 原町高校
化学	B	安達高校、若松女子高校 磐城女子高校
	英語A	会津工業高校
外国語	英語B	福島女子高校、白河高校、 勿来高校
	商業一般	保原高校、喜多方商業高校

##### (5) 調査研究のすすめかた

1. 調査研究は、教科書目録(高等学校用)に登録されて

いる教科書について行なう。

2. 調査研究にあつては、公正な立場に立つて客観的妥当性をもった資料を作成するよう努める。
3. 調査研究者は、教科書を高等学校学習指導要領に基づいて比較研究を行ない、各教科書の特色を明らかにするように努める。
4. 調査研究は、各種目ごとに調査研究の観点を設定して行なう。

調査研究の基本的観点は次のとおりとする。各種目においては、下記の観点に基づいて各教科・科目の性格に即して具体的観点を設定する。

##### ① 正確性

誤りや不正確なところはないか。また一面的な見解だけをとりあげている部分はないか。

##### ② 内容の選択

内容には学習指導要領の示す教科の目標および科目または学年の目標の達成に適切なものが選ばれているか。

##### ③ 内容の程度等

内容の程度は、その学年の生徒の心身の発達段階に適應しているか。また、生徒の生活経験および興味に対する配慮がなされているか。

##### ④ 表記・表現

漢字・かなつかい・ローマ字つづり、記号、用語、計量単位などは適切であり、これらに不統一はないか。また、表現は冗長、粗雑でなく生徒に理解し易いものであるか。

##### ⑤ 使用上の便宜

目次、索引、注、凡例、諸表その他教科書使用上の便宜を与えるものが、必要に応じて与えられているか。また、出典などは必要に応じて示されているか。

##### ⑥ 創意工夫

内容、組織、表現その他について、適切な創意工夫が認められるか。

#### 5 教科書1点ごとに、次の補助資料を作成する

- ① 分量、要素分析表
- ② 各章節ごとの分量は適切か。
- ③ 教材構造分析表(各種目ごとに必要があれば作成する。)

教材の全体構造、部分構造は適切か。